

IB 教育学習会 生徒会活動報告書

日 時：2019年5月24日(金)14:00～16:00

場 所：4階校舎2階 選択A教室

参加者：3年 望月彩弥愛・川原優太・佐藤あおい 2年 三浦彩夏・山本暖歌・石田成宏 1年 堀文仁・三浦果穂

報告者：生徒会1年 堀文仁 三浦果穂

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 活動の意味と目的

- ①. 本校生徒代表として IB 教育導入の前に IB 教育の内容と特徴を知る
- ②. IB 教育の理念と生徒会活動を通じて行っていることとの関連を自分なりに考える
- ③. 5月28日に行われる IB 確認訪問に向けた事前準備

◆ 活動内容

今回本校で IB 認定校に向けての確認訪問というものが5月28日(火)・29日(水)にありました。その際、生徒としてどのように理解しているかを問われる機会があるので、昨年に引き続き、基礎理解のための事前指導を IB 担当の田中先生から受けました。田中先生はパワーポイントを使い、昨年度の実践報告から、IB 教育の授業の特徴、重要概念、これからの本校のミッション等のレクチャーをして頂きました。また、ブレインストーミング(Brainstorming)という手法で、複数人で自由に意見を出し合い、新しい発見や問題の解決方法を導き出す、IB 教育の授業に近いやり方を体験しました。

◆ 感想

実際に私たちは IB 教育講習を受けてみて、今私たちが受けている授業方法やテスト制度などと、総てが全く違うことに驚きました。IB 教育は世界共通の学習方法で、その教育を実施している学校も世界には多く、今よりも海外進出がしやすくなるとのことでした。私たちの進路の幅が広がる点ではとても素晴らしい教育方法だと思いました。

記：生徒会1年 三浦果穂

今回 IB 教育講習でその説明やプログラムを受けてみて、今まで受けていた授業とは違って理解するのに慣れが必要でした。これまで受けてきた授業とは、知識を教え込む形のものだったのですが、IB では、様々な問題に対し、得た知識を使ってどのように解決していくのかを考えるものでした。こうした学習方法のもとで学んでいくと、世界の見方や、視野の置き方を自分で得られるのではないかと思います。

記：生徒会1年 堀文仁